

令和7年牧之原市台風15号に伴う 竜巻等災害から1年

令和7年9月5日、台風15号が上陸し、「国内最大級の竜巻」が当市を襲いました。市内では、細江地区をはじめとして、人的被害や住家・農林被害など、甚大な被害が発生。市では今年度から、本災害を対象とした復旧復興に向けた支援や対策を一体的に進めるため、部局横断的な調整を行う「復興支援室」を設置し、まちの再建に全力で取り組んでいます。甚大な被害をもたらしたあの日からもうすぐ1年。私たちは、この記憶を風化させず、記録とともに後世に伝え、より一層の防災対策に取り組む必要があります。

静波12丁目付近
①令和7年9月7日撮影
②令和8年7月29日撮影

【市内の被害状況】（令和8年7月29日現在）

人的被害	重傷者（骨折、裂傷）14人、軽傷者（切り傷など）64人
住家被害 ※被害認定調査	全壊73棟、大規模半壊47棟、中規模半壊76棟、半壊147棟、準半壊304棟、一部損壊703棟【合計1,350棟】
農林被害	▶農業用施設の損壊：ハウス230棟、防霜ファン35基 ▶農作物被害：飛来物落下約12ha、損壊8.9ha ▶森林被害（5条森林）：17ha
施設被害	▶福祉施設：損壊19棟▶保育教育施設：一部損壊1カ所
その他被害	▶冠水：最大9件▶倒木：最大34件▶土砂：最大70件 ▶通行止め：最大8路線（細江地内）▶損壊：15件 ▶停電：最大9,510世帯▶断水：最大44世帯

【支援制度利用状況、支援金など】（令和8年7月29日現在）

被災者生活再建制度（国制度）	▶基礎支援金：支給件数145件、107,375千円 ▶加算支援金：支給件数107件、87,187千円
被災者生活再建制度（市独自制度）	▶半壊世帯：支給件数111件、23,870千円 ▶準半壊世帯：支給件数248件、32,817千円
災害見舞金	支給件数351件、21,120千円
義援金	総配分金189,480千円
ふるさと納税	約46,000千円
企業版ふるさと納税	約82,000千円
一般寄附	約69,000千円
個人事業主・中小企業など	▶7年度臨時まきサバ相談会：14件▶被災中小企業再建支援事業補助金：（一次）市内企業11件申請済、（二次）32件申請、うち市内企業25件申請済
自治体応援職員	延べ1,289人
農業者	ハウス修繕・再建に係る補助金16件、144,089千円（再建完了分のみ）

【その他】（令和8年7月29日現在）

▶罹災証明書交付数：1,350件▶被災届出証明書交付数：1,727件
▶避難者数：最大53世帯116人▶応急給水：107件▶災害廃棄物発生量：車両5,910台、3,072トン▶ブルーシート配布：6,140枚



令和7年9月5日午後1時50分頃、
榛原総合病院付近の幹線道路で撮影



令和8年7月23日撮影。
新たな住宅の再建や被災建物の解体、修繕が進む



令和7年9月6日撮影。
竜巻により木々が倒れた山林（細江地区）

令和8年6月19日撮影。
木は伐倒し、自然回復による復旧へ

国内最大級の竜巻による被害である「令和7年牧之原市台風15号に伴う竜巻等災害」から、9月5日で1年が経過します。改めて、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

市では、昨年12月に「ささえあいセンター」を開設、4月には、「復興支援室」を設置し、国や県の支援も受けながら、現在も全力で復旧、復興に取り組んでいます。

また、多くの皆さまからいただいた温かい寄附金を財源に、国の制度で対象とならない半壊世帯などへ、市独自の被災者生活再建制度を創設し、支援金を支給しています。

被災された皆さまが一日でも早く安心して元の生活を取り戻せるよう引き続き、全力で支援してまいります。

牧之原市長

杉本基久雄

